

特別展示「京都市考古資料館と建築家 本野精吾 —竣工100年を記念して—」

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
(公財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



展示風景

京都市考古資料館では、国立大
学法人京都工芸繊維大学の御協力
を受けて、平成26年度後期特別展
示として「京都市考古資料館と建
築家 本野精吾—竣工100年を記念
して—」を開催しております。

京都市考古資料館の建物は、西
陣織の製品を展示・陳列する西陣
織物館として西陣織物同業組合に
より建築が進められ、本野精吾の
設計、清水組（現在の清水建設）
の施工により大正3年（1914）に竣
工しました。本野精吾は京都高等
工芸学校（現在の京都工芸繊維大
学）教授として建築・デザイン教
育に携わった人物で、モダニズム

（近代主義）建築の先駆者としても
知られています。この建物は本野
の設計による日本におけるモダニ
ズム建築黎明期の作品として、建
築史の中で重要な位置を占めてい
ることから、京都市の有形文化財
に登録されています。

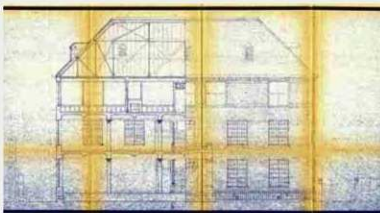
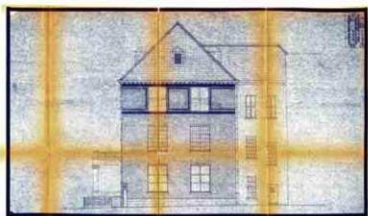
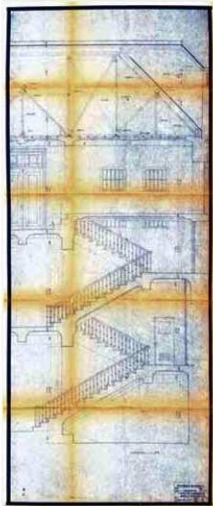
京都市考古資料館は、京都市が
この建物の寄贈を受け、補強・改
修工事を施したのち、遺跡の調査・
研究から明らかになった京都の歴
史を紹介する施設として、昭和54
年（1979）11月28日に開館しま
した。今年度は開館35周年にあた
ります。

今回の特別展示では、建物の竣

工100年を記念して、京都市考古
資料館の建物や建築家本野精吾の
業績とともに、京都市考古資料館
35年間のあゆみを紹介します。合
わせて、京都市内に現存する近代
建築の写真パネルや近代建造物の
遺跡・出土遺物を陳列いたします。
また、期間中には建築当初の姿を
よく残している、旧西陣織物館貴
賓室を期間限定で特別公開してお
ります。

今回の展示が、今も町並みの中
にたたずむ文化財としての近代建
築に関心を持っていただく機会と
なれば幸いです。

（山本雅和）



詳細断面図（左） 東側立面図（右上） 南側立面図・断面図（右下）

京都市考古資料館実測図

これらの図面は京都市考古資料館開館にあたって、大阪市立大学工学部建築学科建築史および建築計画研究室により作成された建物の実測図です。改修工事以前の西陣織物館の構造を知ることができます。



現存する京都市内の近代建築

京都大学文学部陳列館（左）・レストラン菊水（中）・旧京都中央電話局（右）



近代建造物の遺跡

二条駅転車台（左）・昭和天皇即位大礼賀家殿柱穴列（中）・丸物百貨店コンクリート基礎列（右）